

## 強さの秘密

この強さには、何か秘密があるにちがいない！ 久蔵はなぜここまで強かったの？



久蔵は背丈は小さいけれど、足が長かったんだ。柔道は、足が長いと有利な技が多いんだよ。それに久蔵は一つの得意技で相手を倒すタイプではなく、いろいろな技を使いこなして相手を倒すタイプだったんだ。

力だけではなく、技で相手を倒していたんだね。まさに「柔よく剛を制す」だね。



久蔵は、「球車」「大車」など生涯で多くの技を生み出しているんだ。その中でももっとも有名なのが「空気投げ」（隅落とし）。この技は、力任せに相手を倒すのではなく、相手の力と動きを読みきって、一瞬の体さばきによって投げる技なんだ。実践でこの技を使ったのは、久蔵ただ一人とされているんだ！

## 晩年の久蔵

若い時の強さがすごいのは分かったよ。久蔵は年をとっても強かったの？



久蔵は50歳を超えても、強さを維持していたんだ。昭和9年（1934）、久蔵が51歳、8段のときに、天覧試合があったんだよ。久蔵は試合を前に、肺炎になってしまい、当日は39℃の高熱だったといわれているんだ。その中で、田畑昇太郎8段を相手に、すばらしい模範乱取を披露し「実践日本一」と呼ばれるようになったんだ。

その後も、柔道の発展に尽力し、女子柔道の普及や柔道の国際化など柔道界に多くの貢献をしたんだ。昭和20年には講道館10段に昇進。現在でも10段に昇進した人は世界で15人しかいないんだ。

昭和29年（1954）には、久蔵市名誉市民に推戴。昭和40年（1965）に82歳で亡くなるまで、柔道家でありつづけたんだ。

## 講道館入門

すごい！ とても強かったんだね！ 中学校卒業後は、どんな道に進んだの？



明治36年（1903）久蔵は、仙台第二中学校を卒業後、上京して東京専門学校（現・早稲田大学）に入学したんだ。そして柔道の名門「講道館」に入門。さらに、柔道の名人として知られていた、横山作次郎に弟子入りしたんだ。

明治37年（1904）に初段となり、その後異例のスピードで昇段していくんだよ。

明治39年（1906）3段になった久蔵は、師の横山から免許皆伝をもらい、柔道家を志すようになったんだよ。

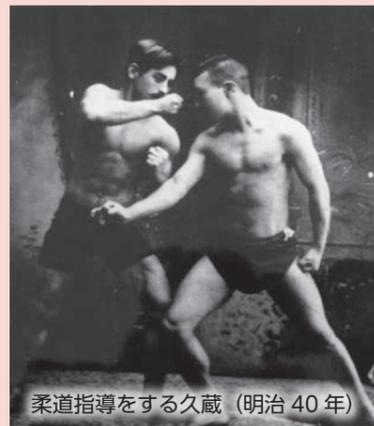
講道館に入って、強さに磨きがかかったんだね。久蔵みたいに強い柔道家はいなかったの？



久蔵にもライバルがいたんだ。久蔵より4歳年下で、身長179cm、体重98kgと大柄な「徳三宝」。久蔵と対照的なライバルとの稽古により、巨漢を倒すにはどうしたらよいか研究したんだ。そういった創意工夫の結果、久蔵はさらに技に磨きをかけ、昇段していくんだよ。

明治42年（1909）には5段に昇段。当時の5段は、現代と違い日本中に数えるほどしかいなかったんだ。

その後、徳三宝は謹慎処分を受け、講道館を去るんだけど、二人の友情は終生続いたんだよ。



柔道指導をする久蔵（明治40年）

## 三船久蔵とはどんな人？

三船十段っていう名前は聞いたことがあるけれど、どんな人なの？



三船十段は、三船久蔵の呼び名なんだ。久蔵は「柔道の父」と呼ばれる「嘉納治五郎」が創設した講道館柔道で、最高位の10段になった柔道家。身長159cm、体重55kgと小柄な体格ながら、自分より大きな相手を簡単に投げ飛ばすほど強く「柔道の神様」とも呼ばれているんだよ。

そんなに強い柔道家なんだ！ その人が久慈出身なの？ 久慈ではどんな生活をしていただろう？



久蔵は明治16年（1883）に久慈市の二十八日町で生まれたんだ。（当時は久慈町）家は米問屋を営んでいて、7人兄弟の末っ子だったんだよ。

子どもの頃は、わんぱくでガキ大将だったそうだよ。あまりのわんぱくぶりに手を焼いた父親は、教育のために久蔵が小学校を卒業した後、郡役所（現在の市役所）で働かせたんだ。でも、仕事が嫌になって、3週間ほどでやめてしまったんだ。

## 柔道との出会い

とてもわんぱくだったんだね。幼いころは柔道をしていないみたいだけど、いつから柔道を始めたの？



郡役所をやめた後、久蔵は猛勉強して、名門の仙台第二中学校に入学するんだ。そこで高校生の柔道の試合を見て、柔道を始めたいと思ったんだよ。

でも、二中には柔道部がなく、久蔵は校長先生を説得して柔道部を作ったんだ。久蔵は高校生との15人ずつの勝ち抜き戦で、11人抜きしたんだよ。今の時代でいうと、強豪大学の柔道部に、高校生が挑戦して勝つような衝撃的な出来事だったんだ。

# ジモト学のススメ



## 三船十段ってどんな人？

三船久蔵は、三船十段の名でも知られ「柔道の神様」として有名です。しかし、どんな人なのか詳しく知ってる人は、あまりいないのでは？ 今回はそんな三船十段こと三船久蔵のことを紹介します。

## さらに知りたい人は！

### 三船十段記念館



■川貫5-20-230

☎53-2210

三船久蔵の生涯や業績を紹介しています。

開館時間…9時～16時30分

休館日…月曜日、国民の祝日、毎月末火曜日、年末・年始

### 久慈市立図書館



■新中の橋5-28-4

☎53-4605

さまざまな本が貸し出しされています。

開館時間…9時～19時

※土、日、祝日9時～17時

休館日…月曜日

※祝日の場合は翌日

### 参考文献

▶嶋津義忠『「柔道の神様」とよばれた男』▶三好京三「琥珀の技」▶泉秀樹・ひおあきら・清水孝一「まんが岩手人物シリーズ2 三船久蔵」